

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	講師	青柳 憲昌

著 書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
『古経楼・富士見亭の建築—五島美術館古経楼・富士見亭修理工事報告書—(世田谷区文化財調査報告集23)』	共著	2014年3月	世田谷区教育委員会	青柳憲昌+株式会社建文・建築文化研究所	
『高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル』	共著	2014年3月	高山市教育委員会	高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル作成検討委員会・飛弾高山伝統構法木造建築物研究会	3-8

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「守山宿の街並みと町家建築」	単著	2014年5月	守山宿歴史塾	青柳憲昌

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)	
京都新聞「守山宿地割り340年継承 立命大生が卒論で解明『まちづくり活用を』」	単独	京都新聞2014年5月9日24面	2013～2014	
京都新聞「守山宿の建物 伝統継承 歴史塾始まる 立命大講師が紹介」	単独	京都新聞(滋賀版)2014年5月19日23面	2013～2014	
守山市民新聞「守山宿 江戸時代の地割りを継承 立命館大学建築史研究室が解明」	単独	守山市民新聞2014年5月25日2面	2013～2014	

## 研究業績書

対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	赤間 亮

著 書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
Fantasia en escena: kunisada y la escuela utagawa (Yakusha-e: las estampas de actores en el contexto visual del ukiyo-e)	分担執筆	2014年5月	Madrid y Murcia	Olga García Jiménez, Daniel Sastre de la Vega, Ellis Tinios	31-44
Le geste suspendu; ESTAMPES KABUKI DU CABINET D'ARTS GRAPHIQUES (Les différents types d'images d'acteur (Various Types of Actor Prints))	分担執筆	2014年10月	Musees d'art et d'histoire de geneve		30-53
文化情報学ガイドブック:情報メディア技術から「人」を探る	共編著	2014年11月	勉誠出版	赤間亮・鈴木桂子・八村広 三郎・矢野桂司・湯浅俊彦	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
歌舞伎の下座音楽はおもしろい、京都和文華の会(企画・構成・解説)	単独	京都府民ホール・アルティ	2008年8月～
小林孔・赤間亮 他、時代鑑俳人短冊譜－近世の裾野－立命館大学グローバルCOE	単独		2009年3月～
小林孔・松本節子・竹内千代子・赤間亮、時代鑑俳人短冊近世版木展（企画）	共同	立命館大学アート・リサーチセンター	2009年3月～
歌舞伎と浮世絵 一怪談物の表現・皿屋敷の場合一	単独	ひこね市市民プラザ、彦根市民大学講座歴史手習塾「歌舞伎の力」	2013年7月1日～
日本の伝統芸能	単独	中之島センタービル、サイバー適塾「グローバル力養成講座」	2013年7月30日～
デジタル・アーカイブと“地図”	単独	横浜市立歴史博物館、横浜市立大学コレクション・古地図の世界」研究講座	2013年10月27日～
役者絵を読む	単独	立命館大学末川記念会館、立命館大学土曜講座	2013年12月21日～

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	泉 知論

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
高位合成によるFPGA実装向けSIFTアルゴリズムの構成法の基礎検討	共同	2014年1月	電子情報通信学会 リコンフィギャラブルシステム研究会 RECONF2013-59	荒川尚久・孟林・泉知論
Pipelining FPPGA-based Defect Detction in FPDs	共同	2014年2月	2014 International Symposium on Field-Programmable Gate Arrays (FPGA'14)	Lin Meng, Keisuke Matsuyama, Naoto Nojiri, Tomonori Izumi, Katsuhiro Yamazaki
Human detection using histograms of oriented gradients with background subtraction based on mixture-of ACM/SIGDA-Gaussians for human behavior recognition	共同	2014年3月	2014 International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing	Norifumi Murata, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, Hironori Yamauchi
文化財受難の時代～盗難・放火や獣害から守るために～	共著	2014年3月	立命館大学歴史都市防災研究所文化遺産における人災・獣害研究部会報告	谷口仁士・山内寛紀・泉知論・福水洋平・金ミンスク・川道美枝子・東久保政勝・
高速カメラによる広帯域光無線通信のための光源追跡ハードウェアの検討	共同	2014年3月	情報処理学会 第76回全国大会 1A-6	河合遼・城圭太・泉知論・白木善史・鎌本優
直線抽出による甲骨文字の認識	共同	2014年3月	情報処理学会 第76回全国大会 2D-5	孟林・河合健太郎・落合淳思・泉知論・山崎勝弘
甲骨マッチングに関する研究	共同	2014年3月	情報処理学会 第76回全国大会 1Q-7	森脇信啓・孟林・林磊・安成浩・泉知論・小柳滋
Impulse 高位合成系によるBlokus対戦アルゴリズムの設計事例	共同	2014年6月	電子情報通信学会リコンフィギャラブルシステム研究会 RECONF2014-9	河合遼・泉知論
○×ゲームを解く再帰関数の高位合成向け記述変換の試行	共同	2014年9月	電子情報通信学会 リコンフィギャラブルシステム研究会 RECONF2014-32	大野真史・中原優・泉知論・孟林
BLUE STORM-Blokus Unified Engine of Search and Test Operation by RitsuMei	共同	2014年12月	the 2014 International Conference of Field-Programmable Technology (ICFPT2014)	Masashi Ohno, Yuu Nakahara, Kazuya Ohtsu, Tatsuya Suzuki, Tomonori Izumi and Meng Lin

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	板谷（牛谷）直子

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
CONTROL OF BUFFER ZONE OF CULTURAL MONUMENTS THROUGH INTRPRETATION OF HISTORIC LANDSCAPE	共著	2014年3月	ICOMOS General Assembly, Scientific Symposium "Heritage and Landscape as Human Values" (ICOMOS General Assembly 2014 巻 Theme 1号)	Masafumi YAMASAKI, Zentarō YAGASAKI, Naoko ITAYA, Takahiro NAKA	
宮城県南三陸町の被災した文化遺産の現状と復興の課題	共著	2014年7月	『歴史都市防災論文集』(Vol.8巻)	板谷直子（牛谷直子）・ロヒト・ジグヤス・中谷友樹	pp 55-62
東寺（教王護国寺）および下鴨神社（賀茂御祖神社）のバッファゾーンの景観保全の課題—京都の世界遺産バッファゾーンの景観保全に関する研究2	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会全国大会（近畿）学術講演会梗概集（F-1巻）	板谷（牛谷）直子・山崎正史・矢ヶ崎善太郎	473-474
バッファゾーン保護の考え方と清水寺参道について 京都の世界遺産バッファゾーンの景観保全に関する研究1	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会全国大会（近畿）学術講演会梗概集（F-1巻）	山崎正史・矢ヶ崎善太郎・板谷直子	471-472

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
宮城県南三陸町の被災した文化遺産の現状と復興の課題	共著	2014年7月	歴史都市防災シンポジウム	板谷直子
Policies for Disaster Risk Management of Cultural Heritage in Japan	単著	2014年8月	Workshop on Disaster Risk Management of Cultural Heritage in Myanmar	Naoko Itaya Ushitani

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	伊津野 和行

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
Seismic assessment of Japanese traditional wooden structure by dynamic interaction numerical analysis of surrounding ground	共著	2014年3月	Journal of Natural Disaster Science (35巻1号)	Hisakazu Sakai, Kazuyuki Izuno, Kazunari Sako, Takahiro Endo, Ryoichi Fukagawa and Kenzo Toki	1-20

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Seismic performance of aged and deteriorated wooden joints of Japanese traditional timber structures	共同	2014年8月	The 2014 World Conference on Timber Engineering	Yu Ooka, Kazuyuki Izuno, Hideaki Tanahashi and Yoshiyuki Suzuki

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	大窪 健之

著 書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
津波避難拠点として機能した社寺	共著	2014年1月	『東北学03』, 特集06, はる書房	大窪健之	pp.138-155
Tohoku Recovery: Challenges, Potentials and Future, Chapter.6”Temples and Shrines as Contemporary Shelters that Support Evacuees”	共著	2014年11月	Springer	Takeyuki OKUBO	pp.65-78

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
安政江戸地震における地震火災に関する研究 - 江戸の都市防火体制に着目して -	共著	2014年3月	地域安全学会論文集 No.22（電子ジャーナル）	森下雄治、大窪健之	
ハザードマップの記載内容に関する傾向分析～平成25年度における日本全国の市町村を対象として～	共著	2014年5月	地域安全学会梗概集 No. 34、地域安全学会	稲村雄一郎、大窪健之、金度源	pp.129-132
市民消火栓の日常利用促進のための操作性改善と利用方法の検討～京都市清水寺地域の住民による評価を通して～	共著	2014年5月	地域安全学会大会研究発表会（春季）、B-7	塩浜裕紀、大窪健之、金度源	
津波避難ビルにおける避難生活支援の課題と改善策に関する一考察～宮城県沿岸自治体に属する津波避難ビルを対象として～	共著	2014年5月	地域安全学会大会研究発表会（春季）、A-2	国島岳大、大窪健之、金度源、林倫子	
重要文化財・松山城の避難計画に関する研究～エージェント型避難シミュレーションを用いた有効性評価～	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 vol.8	大窪健之、福田和弘	pp.173-180
歴史都市パタンにおける1934年大震災後の避難生活の実態	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 vol.8	サキヤ・ラタ、大窪健之	pp.203-210
地区防災計画の実施状況評価と防災活動推進のためのワークショップ実施について～与謝野町加悦重伝建地区を対象に～	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 vol.8	宮田雄大、大窪健之、金度源	pp.295-302
都市内の河川と河川空間の防災活用に関する基礎的研究～再整備された京都市・堀川における防災機能の調査	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 vol.8（報告）	金度源、大窪健之	pp.303-310
ネパール、パタン旧市街地の中庭型集住体における1934年大震災後の避難生活の実態	共著	2014年9月	日本建築学会大会（関西）学術講演梗概集、日本建築学会	サキヤ・ラタ、大窪健之	pp.1085-1086

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
高山市三町, 下二之町大新町重要伝統的建造物群保存地区における防災対策の現状調査、	共著	2014年9月	日本建築学会大会(関西) 学術講演梗概集、日本建築学会	金度源、大窪健之	pp.87-88
Traditional wisdom for disaster mitigation in history of Japanese architectures and historic cities, Cultural Help 2014	共著	2014年10月	ICOMOS/ICORP, ポルト(ポルトガル)	Takeyuki OKUBO (基調講演・アブストラクト査読付)	
Conservation of the fire fighting water supply system "Honganji-Water Pipelines": Restoration for practical utilizing of the fire disaster mitigating cultural heritage, Cultural Help 2014	共著	2014年10月	ICOMOS/ICORP, ポルト(ポルトガル)	Dowon Kim, Takeyuki Okubo (アブストラクト査読付)	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
Research & Development for the Protection of the Kiyomizu-dera Area from Fires Triggered by Earthquake in Kyoto, 150 years of UK-Japan Collaboration - Science	単著	2014年1月	Technology and Innovation Symposium, Embassy of Japan in the UK, London (United Kingdom)	Takeyuki OKUBO
招待講演: 文化財所有者連合会・講演		2014年7月	京都府教育委員会、ルビノ堀川	大窪健之
清水寺周辺地域における歴史防災まちづくりのための特殊講義		2014年8月	夏期集中講義	大窪健之
招待講演「阪神・淡路大震災の火災被害とその後の減災への取組み」		2014年10月	阪神・淡路大震災20年地震防災フォーラム@マイドームおおさか、土木学会関西支部・地盤工学会関西支部共催	大窪健之
講演「東日本大震災に学ぶ「駆け込み寺」という知恵」		2014年12月	立命館大学土曜講座, 立命館大学末川記念館	大窪健之

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
文化遺産災害対策小委員会・委員, 日本建築学会歴史意匠委員会			2007年~2009年度, 2013年度
「土木」夢づくり懇談会・委員			2010年度~
明日の京都 文化遺産プラットフォーム 第六部会・委員長			2010年度~
京都府与謝野町「与謝野町加悦重要伝統的建造物群保存地区・防災事業検討会議」委員			2012年度~
奈良県奈良市「奈良国際文化観光都市建設審議会」委員			2012年度~
奈良県奈良市「奈良市都市マスタープラン見直し検討委員会」副委員長			2012年度~

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
立命館大学「歴史都市防災研究所」所長			2013年度～
京都府建築士会・理事			2013年度～
愛媛県松山市「史跡松山城跡整備検討委員会」専門委員			2013年度～
滋賀県「滋賀県東北部都市計画区域の見直し検討会」座長			2014年度～
愛媛県松山市「道後温泉本館保存修復専門委員会」委員			2014年度～
奈良県奈良市「奈良IC（仮称）周辺まちづくり委員会」委員長			2014年度～2015年度
京都府京都市「京都市建築物安心安全実施計画推進会議」委員			2013年度～
京都府「京都府住宅審議会」委員			2014年度～
NPO法人「あすの夢土木」理事			2014年9月～
「歴史・文化を活かした防災まちづくり」		新聞記事（被取材）、日刊建設工業新聞、大阪支社新年特集号2014（6面）	2014年1月7日
防災特番 湖南4市長放談～地域防災を考える～		えふえむ草津、ラジオ番組出演（アドバイザー）	2014年1月17日
コラム執筆：「情報入手手段を確立して、災害を生き抜く」		広報くさつ、No.1104、pp.4、草津市	2014年3月1日
地域国際研修・講義（3）及び演習（1）担当：Training Course on Disaster Risk Management of Cultural Heritage organized by GIDM in cooperation with Rits-DMUCH, the Gujarat Institute of Disaster Management		Gandhinagar (India)	2014年2月17日～21日
手づくり発電水車講演		京北第二小学校（京都市）	2014年7月9日、16日
ミャンマー地域防災研修講師		ピュー（ミャンマー）	2014年8月15日～16日
プレスセミナー		立命館大学 東京キャンパス	2014年8月25日
福住地区防災勉強会		福住公民館、兵庫県篠山市	2014年8月31日
加悦地区防災勉強会		加悦公民館、京都府加悦町	2014年9月7日
JICA研修「歴史都市の保全・防災と文化観光の活用」		立命館大学 朱雀キャンパス	2014年9月8日
淡海生涯カレッジ		立命館大学びわこ・くさつキャンパス	2014年9月20日
パタン地区防災ワークショップ		カトマンズ（ネパール）	2014年9月27日
福住地区防災まちあるき		兵庫県篠山市	2014年10月19日
インドネシア研修		立命館大学 歴史都市防災研究所	2014年11月6日
加悦地区防災まちあるき		京都府加悦町	2014年11月23日



知的財産権						
名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
消火栓装置			特願 2013-082805			
延焼防止用散水ノズル及びこれを用いた街路壁面用散水システム			特願 2013-102662			
地域防災情報システム			特願 2014-005200			
地域防災情報システム・警報システム			特願 2014-005324			

## 研究業績書

対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	岡井 有佳

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
阪神間における条例に基づくパチンコ店の立地規制の実態	共著	2014年10月	日本都市計画学会都市計画論文集 No49-3	松井大輔・岡井有佳	501-506
屋外広告物規制に対する地域住民の認識に関する研究：京都市三条通界わい景観整備地区を対象として	共著	2014年9月	一般社団法人日本建築学会学術講演梗概集2014	川崎聖実・松井大輔・岡井有佳	17-18
先斗町花街における茶屋の減少に伴う火災危険性の変化	共著	2014年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 Vol.8	松井大輔・岡井有佳	211-216

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
先斗町花街における茶屋の減少に伴う火災危険性の変化	共著	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム	松井大輔

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	小川 圭一

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
歴史都市における観光客のための避難経路の抽出方法に関する研究～京都市東山区を対象として～	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol.8	小川圭一, 前川貴哉, 松野真樹, 塚口博司, 安隆浩	pp.181-188
大規模地震発生直後の交通需要の推計と災害時交通マネジメントに関する一考察	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol.8	安隆浩, 孫若晨, 塚口博司, 小川圭一	pp.195-202

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
歴史都市における観光客のための避難経路の抽出方法に関する研究～京都市東山区を対象として～	共著	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 前川貴哉, 松野真樹, 塚口博司, 安隆浩
大規模地震発生直後の交通需要の推計と災害時交通マネジメントに関する一考察	共著	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム	安隆浩, 孫若晨, 塚口博司, 小川圭一

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	片平 博文

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
鴨川を越えた大火－建長元年三月二十三日の火災－	単著	2014年6月	吉越昭久編『災害の地理学』、文理閣	片平 博文	pp.12-44

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
Influence of Preparedness Measures on Re-Opening Time for Small Businesses after 2011Thai Flood: A Case Study of Sai Mai District in Bangkok Metropolitan Administration	共著	2014年7月	Journal of Disaster Mitigation for Historical Cities (8巻)	Siriluk Mongkonkerd, Sachi Perera, Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae	107-114
Sustainable Urban Heritage through Participatory Evacuation Map Making for Kotagede, Yogyakarta - A Lesson Learned from Sister City, Kyoto - Japan	共著	2014年	Procedia Environmental Sciences (Forthcoming 巻)	Dyah R. Hizbaron, Sudibyakto, Raditya Jatib, Kanegae Hidehiko and Toyoda Yusuke	
農地炭素貯留から派生する環境保全型ブランド野菜の受容可能性—消費者の価値評価の計量分析	共著	2014年	創地共望—立命館大学地域情報研究センター紀要 (3巻)	田藤裕祐、本多彩夏、柴田晃、鐘ヶ江秀彦	39-49

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Gaming Simulation for Community-based Disaster Reduction	共同	2014年7月	2014 International Simulation & Gaming Association	Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae and Kohei Sakai
A Study on Economic Damage for Tourism in Kyoto City by Earthquake Disaster	共同	2014年9月	International Academic Conference on Tourism (INTACT) 2014	Mingji Cui, Qinglin Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
A Study on Evacuation Simulation for Guiding Tourists in Himeji Castle Based on a Survey of Tourists' Intention in Evacuation after Earthquake	共同	2014年9月	International Academic Conference on Tourism (INTACT) 2014	Kohei Sakai, Ayaka Honda, Siriluk Mongkonkerd, Sachi Perera, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hitoshi Taniguchi, Hidehiko Kanegae
エージェントシミュレーションによる姫路城の観光経路に着目した避難誘導に関する研究	共同	2014年10月	日本地域学会第51回全国大会	酒井宏平・鐘ヶ江秀彦

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
情報理工学部	教授	川合 誠

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
Distributed Hybrid Localization Using Received Signal Strength and Self-Organizing Maps for Wireless Ad-hoc Networks	共著	2014年7月	電気学会論文誌C 電子・情報・システム部門誌（134巻7号）	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai	939-948
Experimental Evaluations of RSS Threshold-Based Optimized DV-HOP Localization for Wireless Ad-Hoc Networks	共著	2014年8月	ELECTRONICS LETTERS（50巻17号）	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai	1246-1248

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Wireless Sensor Network Based Mobile Tracking System		2014年2月	International Conference on Information Technology	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai
Improved DV-HOP Based Localization Scheme Using Iterative Learning with RSS Threshold	共著	2014年5月	電子情報通信学会技術研究報告	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai
Performance Improvement of Connectivity-Based Localization Using Iterative Learning	共著	2014年6月	International Conference on Localization and GNSS	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai
Resource-Efficient Mobile Target Tracking in Wireless Sensor Networks	共著	2015年3月	電子情報通信学会総合大会	Nyein Aye Maung Maung, Makoto Kawai
スマートホームにおけるサービス連動型ホームオートメーションシステムの設計	共著	2015年3月	電子情報通信学会総合大会	渡邊一貴, 野口拓, 川合誠
VANETを利用したiOSデバイスによる車両可視化システム	共著	2015年3月	電子情報通信学会総合大会	田中直樹, 野口拓, 川合誠
アドホックネットワークにおけるACK棄却攻撃に対する防御方式	共著	2015年3月	電子情報通信学会総合大会	尾崎史洸, 野口拓, 川合誠

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
電子情報通信学会	電子情報通信学会 業績賞	マルチポートアンプの発明とマルチビーム移動体衛星通信実用化への貢献	2014年6月

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	河角 龍典

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
京都盆地東部、白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡における遺構面下の地質.	共著	2014年7月	『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告2014-1 延勝寺跡・岡崎遺跡』, 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所	小野映介・河角龍典	32-33
都市史研究とジオアーケオロジー — 古代日本における都市開発と微地形 —	単著	2014年12月	シンポジウム「都市と大地」シリーズ『都市史の基層として大地・地面・土地を考える』、日本都市史学会建築歴史・意匠委員会 都市史小委員会	河角龍典	5-11
京都盆地東部に位置する白河街区跡、法勝寺跡、岡崎遺跡の地質.	共著	2014年12月	『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告2014-6 白河街区跡・法勝寺跡・岡崎遺跡』公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所	小野映介・河角龍典	26-27

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
3次元デジタル地図で見る平安京の三山と街づくり」京都伝統文化の森推進協議会文化的価値発信事業	単著	2014年6月	第10回公開セミナー「観光都市京都・三山の魅力を探る」	河角龍典
GISを用いた遺構情報のデジタルアーカイブと地理的分析—平城京を事例として—	単著	2014年7月	日本文化財科学会 第31回大会, 奈良教育大学.	河角龍典
法勝寺八角九重塔の支持地盤	共著	2014年7月	日本文化財科学会 第31回大会, 奈良教育大学	小野映介・河角龍典・柏田有香
京都盆地における始良 Tn 火山灰の堆積状況.	共著	2014年9月	日本地理学会秋季大会, 富山大学	小野映介・河角龍典・藤根久
GISでみる平安京のまちづくり」	単著	2014年10月	GIS Day in 関西 2014	河角龍典
珪藻分析を用いた伊勢平野中部における完新世中期以降の古環境復元.	共著	2014年11月	日本珪藻学会第34回研究集会, 滋賀県立琵琶湖博物館.	佐藤善輝・小野映介・河角龍典

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「都市史研究とジオアーケオロジー—古代日本における都市開発と微地形」	単著	2014年12月	日本建築学会 建築歴史・意匠委員会 都市史小委員会 シンポジウム都市史研究の最前線「都市と台地」シリーズ, 第1回『都市史の基層としての大地・地面・土地を考える』	河角龍典
2014年度都市史学会大会記念シンポジウム 都市史の現在Ⅱ,	単著	2014年12月	全体討論コメントとリプライ, 京都工芸繊維大学	
徳島県撫養地区における塩田開発と1596年慶長伏見地震の関連性.	共著	2015年3月	日本地理学会春季大会, 日本大学	小野映介・矢田俊文・海津颯・河角龍典

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
「阪神大震災から20年 今日研究者3人に聞く」	単独	京都新聞	2015年1月16日 朝刊



## 研究業績書

対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	木立 雅朗

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
友禅とプライバシー	共同	2014年5月	"Privacy and Surveillance in the Digital Age." 2nd Around the World Conference	木立雅朗、山本真紗子、鈴木桂子

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
TBS ニュースバード・ニュースの視点「京友禅を未来へ」に出演	共同	TBS ニュースバード「ニュースの視点」(CS放送)	2014年6月30日
展示会「分業から協業へ—大学が、若冲と京の伝統工芸を未来に繋げる—」開催	共同	京都文化博物館別館ホール	2014年7月12日～2014年7月13日
若冲の鶏「協業」で着物に 今日まで企画展	共同	読売新聞	2014年7月13日
立命館大学と協同 伊藤若冲の図柄のきもの・帯を製作 ZONE きものデザイン研究所	共同	染織新報	2014年7月26日
日本経済新聞文化欄で「京友禅の図案 デジタル化 明治～昭和期の紙製原画を収集、後世に」が掲載される	その他	日本経済新聞 2014年10月8日付朝刊	2014年10月8日

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	里深 好文

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
粒径分布特性を考慮した透過型砂防えん堤の土砂流出調節機能に関する研究	共著	2014年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (第70巻)	原田紹臣・里深好文	
天然ダムの越流決壊による決壊過程と流出ピーク流量に関する研究	共著	2014年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (第70巻)	赤澤史顕・池田亮和・里深好文	

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	鈴木 祥之

著 書					
著書等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
都市建築の発展と制御シリーズ「市民と専門家が協働する成熟社会の建築・まちづくり」	共著	2014年1月	社団法人日本建築学会	鈴木祥之	177-188
嶋臺塾記録、第九冊	共著	2014年3月	京都大学大学院地球環境学堂三才学林	鈴木祥之	63-88
高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル	共著	2014年3月	高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル作成検討委員会、飛騨高山伝統構法木造建築物研究会	編著：鈴木祥之	1-168、 設計資料 1-30

論文(査読あり)					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	頁数
東本願寺御影堂門における板壁構面の耐震性能と吸い付き棧を用いた補強法に関する実験的研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	瀧野敦夫、鈴木祥之	25-32
飛騨高山の伝統木造仕口の性能検証実験	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	棚橋 秀光、大岡 優、向坊 恭介、鈴木祥之	1-8
東本願寺御影堂門の立体解析モデルによる地震応答解析	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	吉富信太、栗田駿平、向坊 恭介、鈴木祥之	17-24
水平加力実験による飾り組子欄間の構造性能	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	須田達、棚橋秀光、中村友輔、鈴木祥之	33-40
重要伝統的建造物群保存地区における防災意識の地域特性に関する比較研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	崔青林、豊田祐輔、崔明姫、谷口仁士、金玖淑、朴ジョンヨン、鈴木祥之	229-236
SEISMIC RESISTING MECHANISM AND FORMULATIONS OF TRADITIONAL WOODEN JOINTS WITH WEDGES	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Hideaki Tanahashi, Yu Ooka, Kazuyuki Izuno, Yoshiyuki Suzuki	Paper No.122
SEISMIC PERFORMANCE OF AGED AND DETERIORATED WOODEN JOINTS OF JAPANESE TRADITIONAL TIMBER STRUCTURES	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada,	Yu Ooka, Kazuyuki Izuno, Hideaki Tanahashi, Yoshiyuki Suzuki	Paper No.328
EVALUATION OF RESTORING FORCE CHARACTERISTICS OF MUD-WALLS CONSIDERING EFFECT OF WALL-HEIGHT FOR SEISMIC STRUCTURAL DESIGN	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Hiroyuki Nakaji, Masami Gotou, Hiro Kawahara, Yoshiyuki Suzuki	Paper No.589

論文（査読あり）					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	頁数
DEVELOPMENT OF NUMERICAL ANALYSIS METHOD FOR JAPANESE TRADITIONAL WOOD HOUSES CONSIDERING THE SLIDING BEHAVIOR OF COLUMN ENDS	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Takafumi Nakagawa, Mikio Koshihara, Naohito Kawai, Yukio Saito, Yoshiyuki Suzuki	Paper No. 610
INFLUENCE OF ARRANGEMENTS OF WALLS AND OPENING ROOFS TO MAXIMUM SEISMIC RESPONSE OF JAPANESE TRADITIONAL WOODEN HOUSE	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Koji Yamada, Yoshiyuki Suzuki, Yukio Saitoh	Paper No. 210
QUANTITATIVE EVALUATION FOR INFLUENCE OF ECCENTRICITY TO DESIGN ASYMMETRIC HOUSING STRUCTURE WITH FLEXIBLE RIGIDITY AT FLOORS	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Yoichi Mukai, Sanshiro Suzuki, Yoshiyuki Suzuki	Paper No. 599
FULL-SCALE SHAKING TABLE TEST OF TRADITIONAL TIMBER STRUCTURE WITH GABLE ROOF PLACED FREE ON FOUNDATION	共著	August, 2014	Proceedings of World Conference on Timber Engineering (WCTE 2014), Quebec City, Canada	Kyosuke Mukai, Yoshiyuki Suzuki	Paper No. 626
伝統的構法の楔の復元力特性に及ぼす効果	共著	2014年12月	第14回日本地震工学シンポジウム	棚橋秀光、大岡 優、鈴木祥之	1673-1682

論文（査読なし）					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	頁数
土壁から採取した壁土の性質	共著	2014年7月	2014年日本建築学会北陸支部研究報告集、第57号	浦 憲親、鈴木祥之	102-103
吸い付き棧を用いた板壁構面の耐震性能に関する実験的研究	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿）	瀧野敦夫・中田欣作・棚橋秀光・鈴木祥之	87-88
伝統的な飾り組子欄間の静的水平加力実験による構造特性	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿）	須田達・中村友輔・棚橋秀光・鈴木祥之	235-236
木造寺院山門の階段を用いた制震補強実験	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿）	向坊恭介・田代靖彦・鈴木祥之	279-280
銚子の甘さがほぞ接合部の力学挙動に及ぼす影響	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿）	小川敬多・佐々木康寿・山崎真理子・棚橋秀光・大岡優・鈴木祥之	463-464
飛騨高山の伝統構法木造建築物の耐震性能評価 その1 古材・新材の材料特性	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿）	大岡優・棚橋秀光・向坊恭介・鈴木祥之	467-468

論文（査読なし）					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	頁数
飛騨高山の伝統構法木造建築物の耐震性能評価 その2 古材・新材仕口の復元力特性	共著	2014年9月	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿）	棚橋秀光・大岡優・向坊恭介・鈴木祥之	469-470

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
講演「伝統木造建築物の耐震性－実大振動台実験による検証－」		2014年1月	防災フロンティア研究センター 第5回防災情報シンポジウム、京都タワーホテル	鈴木祥之

その他研究活動（報道発表、講演会等）			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
講演「文化財建造物の耐震改修に向けて」	単独：鈴木祥之	主催：(社)全国国宝重要文化財所有者連盟	2014年6月
講演「町家に住みつづけるために」	共同：鈴木祥之、齋藤幸雄、向坊恭介	高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル 講演会、高山まちの博物館 研修室	2014年7月
報告会「石場建てを含む伝統的構法木造建築物の設計法」	共同：鈴木祥之、齋藤幸雄、向坊恭介、大江忍	伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会第四回フォーラム in 滋賀	2014年7月
講演「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会の検討成果と平成の京町家への応用」	共同：鈴木祥之、寺門宏之	平成26年度平成の京町家コンソーシアム総会	2014年7月
講演「実務者のための伝統的構法木造建築物の設計法」	共同：鈴木祥之、齋藤幸雄、西澤政男、和田洋子	JIA 建築家大会2014 岡山、主催：益社団法人日本建築家協会、岡山コンベンションセンター	2014年9月
講演「伝統構法の建築物とは」、伝統構法木造住宅の耐震対策－しなやかに粘り強く 地震に備える－	共同：鈴木祥之、須田達	主催：NPO法人ちりめん街道未来塾、会場：岩滝知遊館	2014年8月
講演「石場建てを含む伝統的構法木造建築物の設計法」	共同：鈴木祥之、齋藤幸雄、向坊恭介、大江忍	これ木連第4回フォーラム東京報告会、主催：これからの木住宅を考える連絡会、会場：研究社英語センタービル 地下2階大会議室	2014年10月
講演「伝統構法木造建築物の耐震性と耐震補強」、高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル実務者講習会	共同：鈴木祥之、齋藤幸雄、向坊恭介	主催：高山市、飛騨高山伝統構法木造建築物研究会、高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル活用検討委員会、会場：高山市役所、飛騨高山まちの博物館	2014年10月
講演「伝統構法木造建築物の耐震性と耐震補強」、『伝統構法と向き合う』～限界耐力計算を習得するための講習会～	共同：鈴木祥之、須田達、向坊恭介	主催：NPO 法人ちりめん街道未来塾、会場：加悦地区公民館	2014年11月、12月
講演「伝統構法木造建築物を未来につなぐ」、立命館土曜講座第3117回「歴史都市と災害」	単独：鈴木祥之	主催：立命館大学、会場：立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館講義室	2014年12月

## 研究業績書

対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	高橋 学

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
環境史からみた東北地方・太平洋沖地震の津波被害	単著	2014年7月	「災害の地理学」文理閣 吉越昭久編	高橋 学	45～66頁

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
テレビ出演	単独	フジテレビ「ミスターサンデー」	2015年3月8日

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	武田 史朗

著 書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
ふたたび運河と暮らすまち 京都・木屋町・高瀬川：第四回文化遺産防災アイデアコンペティション〈公式ガイドブック〉	共編著	2013年	学芸出版社	立命館大学グローバルCOE「文化遺産防災学」推進拠点第4回文化遺産防災アイデアコンペティション実行委員会	(全編の企画編集を担当)
コンパクト建築設計資料集成 都市再生	分担執筆	2014年	丸善	日本建築学会(編集)	147-149, 152, 154

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
自然葬地の可能性：個人主義を受け入れる新たな公共的景観として	単著	2013年	都市緑化技術(89巻)	武田史朗	22-23
京都市「ちびっこひろば」において実施した防災イベントの評価と防災的活用における課題に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	堀健太郎、武田史朗	159-164

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)	
「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	共同	「騒音気にせずラジオ体操～正面だけに音 超音波スピーカー～」京都新聞 夕刊：9月3日(水)8面A	2014年9月3日～	
「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	共同	「超音波スピーカーさらば騒音 ～住宅密集でものびのび体操～」2014年10月7日、朝日新聞(夕)10A	2014年10月7日～	
「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	単独	「壬生オアシスガーデンで遊ぼう!」京都三条ラジオカフェ(NPO法人京都コミュニティ放送)の番組「まちづくりチョビット推進室」内のインタビュー	2014年12月20日～	
福良港津波防災ステーション ランドスケープ(作品)	共同	造園作品選集 Vol.12(日本造園学会誌 増刊第77号), p26-27,	2014年～	
あまが池親水緑地	共同	造園作品選集 Vol.12(日本造園学会誌増刊第77号), p24-25	2014年～	
立命館大学理工新棟トリシアおよびそのランドスケープ	共同	ランドスケープデザイン, マルモ出版, No.98, 2014年8月, p30-31	2014年～	
立命館大学大阪いばらきキャンパス計画およびランドスケープ	共同	ランドスケープデザイン, マルモ出版, No.98, 2014年8月, p25-28	2014年～	

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	塚口 博司

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
大規模地震発生直後の交通需要の推計と災害時交通マネジメントに関する一考察	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	安隆浩・孫若農・塚口博司・小川圭一	8 ページ
歴史都市における観光客のための避難経路の抽出方法に関する研究 ～京都市東山区を対象として～	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 8	小川圭一・前川貴哉・松野真樹・塚口博司・安隆浩	1 ページ



## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	准教授	豊田 祐輔

著 書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
Gaming as an "Effective" Tool for Community-based Disaster Reduction in "Back to The Future of Gaming"	分担執筆	2014年7月	W. Bertelsmann Verlag GmbH & Co.	Toyoda Yusuke	100-110
Gaming Simulation for Community-Based Disaster Reduction in "The Shift from Teaching to Learning: Individual, Collective and Organizational Learning through Gaming Simulation"	共著	2014年7月	W. Bertelsmann Verlag GmbH & Co.	Yusuke Toyoda, Kanegae Hidehiko and Sakai Kohei	330-344

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
Influence of Preparedness Measures on Re-Opening Time for Small Businesses after 2011Thai Flood: A Case Study of Sai Mai District in Bangkok Metropolitan Administration	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	Mongkonkerd Sariluk, Perera Sachi, Sakai Kohei, Cui Minji, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	107-114
姫路城における観光客の避難行動パターンに関する研究 - 多基準意思決定にもとづいた意識調査を事例として -	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	酒井宏平、本多彩夏、Siriluk Mongkonkerd、豊田祐輔、谷口仁士、鐘ヶ江秀彦	189-194
A Community Evacuation Planning Model against Urban Earthquakes	共著	2014年8月	Regional Science, Policy and Practice (6巻3号)	Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	231-249
Sustainable Urban Heritage through Participatory Evacuation Map Making for Kotagede, Yogyakarta - A Lesson Learned from Sister City, Kyoto - Japan	共著	2014年	Procedia Environmental Sciences (Forthcoming 巻)	Dyah R. Hizbaron, Sudibyakto, Raditya Jatib, Kanegae Hidehiko and Toyoda Yusuke	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Community Evacuation Experience for University Students by EVACUATION SIMULATION TRAINING	単著	2014年4月	Proceedings of the 6th Annual International ThaiSim Conference "Learning with simulations and games: Learning methods for the AEC"	Toyoda Yusuke
2011年タイ洪水による世界遺産アユタヤの経済的被害に関する調査研究	共著	2014年5月	地域安全学会	崔明姫、豊田祐輔、酒井宏平、谷口仁士、鐘ヶ江秀彦
Community disaster mitigation cases in Japan toward resilient community strategies	共著	2014年5月	10th World Congress of the RSAI (Regional Science Association International)	Yusuke Toyoda*, Kanegae Hidehiko
Gaming Simulation for Community-based Disaster Reduction	共著	2014年7月	The 45th ISAGA conference	Yusuke Toyoda*, Hidehiko Kanegae, Kohei Sakai

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
A Study on Economic Damage for Tourism in Kyoto City by Earthquake Disaster	共著	2014年9月	INTACT2014 International Academic Conference on Tourism "Tourism and Disaster: Managing Tourism in Disaster Risk Areas" Abstract	Cui Mingji*, Cui Qinglin, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
A Study on Evacuation Simulation for Guiding Tourists in Himeji Castle Based on a Survey of Tourists' Intention in Evacuation after Earthquake	共著	2014年9月	INTACT2014 International Academic Conference on Tourism "Tourism and Disaster: Managing Tourism in Disaster Risk Areas" Abstract	Sakai Kohei*, Honda Ayaka, Mongkongkerd Siriluk, Perera Sachi, Cui Sachi, Toyoda Yusuke, Taniguchi Hitoshi and Kanegae Hidehiko
少子高齢化社会を見据えた地震防災問題	共著	2014年9月	第33回自然災害学会学術講演会	崔明姫*、谷口仁士、豊田祐輔
2011年アユタヤ洪水におけるコミュニティ・レジリエンス	単著	2014年10月	日本地域学会第51回年次大会	豊田祐輔
A study on effectiveness of problem based learning from the viewpoint of legitimate peripheral participation	共著	2014年11月	The 5th International Conference on Sustainable Future for Human Security-SUSTAIN 2014	Sakai Kohei*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
Introduction to Disaster Management for Urban Cultural Heritage and Traditional Architecture in Kyoto	単独	Introduction to the 1st Collaborative Workshop, Chulalongkorn University, in Bangkok, Thailand	2014年2月11日～2014年2月11日
Policy Process for Community-based Disaster Risk Reduction in Japan	単独	10th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Aras in Kyoto, Ritsumeikan University Research Center for Disaster Mitigation of Urban Cultural Heritage, in Kyoto, Japan	2014年3月5日～2014年3月5日
Challenges in Roles of Community for Risk Resilience	単独	1st International Seminar on Urban Gaming Simulation Theory & Practice "URRGES (Urban Risk Resilience Gaming Experience Simulation)"	2014年3月15日～2014年3月15日
楽しみながら真剣に行う防災	単独	いばらきまちづくりラボ(いばラボ)	2014年10月18日～2015年1月24日
Community-based Disaster Mitigation and Management of Evacuation Shelter	単独	Training of Trainers (TOT) - Disaster Mitigation Program under Professional Human Resources Development Project IV (PHRDP III) of Indonesia	2014年11月6日～2014年11月6日
Policy Process for Community-based Disaster Risk Reduction in Japan	単独	12th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Aras in Kyoto	2014年12月17日～2014年12月17日

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
Center for Tourism Studies, Gadjah Mada University	The Best Paper Presenter	A Study on Evacuation Simulation for Guiding Tourists in Himeji Castle Based on a Survey of Tourists' Intention in Evacuation after Earthquake in International Academic Conference on Tourism (INTACT)	2014年9月

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	中谷 友樹

著 書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
パターンとプロセス	分担執筆	2013年9月	人文地理学会 編「人文地理学事典」丸善出版	中谷友樹	100-101
地理情報システムによる東日本大震災の文化財被災地図—震災による文化財被災リスク分布の把握に向けて—	分担執筆	2014年7月	吉越昭久編「災害の地理学」文理閣	中谷友樹	233-255
Geographically weighted generalised linear modeling	分担執筆	2015年1月	Brunsdon, C. and Singleton, A. eds. <i>Geocomputation: A Practical Primer</i> , Sage Publication	Nakaya T	In press

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
Japanese Surname Regions	共著	2014年8月	Papers in Regional Science (93巻3号)	Cheshire, J.A., Longley, P.A., Yano, K. and Nakaya, T.	539-555
Income Inequalities in Japan and the UK: A Comparative Study of Two Island Economies	共著	2014年1月	Social Policy and Society (13巻1号)	Ballas, D., Dorling, D., Nakaya, T., Tunstall, H. and Hanaoka, K.	103-117
Drought impacts on children's respiratory health in the Brazilian Amazon	共著	2014年1月	Scientific Reports (4巻)	Smith, L., Aragao, L., Sabel, C. and Nakaya T.	3726 doi: 10.1038/ srep 03726
Gender differences in association between psychological distress and detailed living arrangements among Japanese older adults, aged 65-74 years	共著	2014年5月	Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol (49巻5号)	Kikuchi H, Takamiya T, Odagiri Y, Ohya Y, Nakaya T, Shimomitsu T, Inoue S.	823-830
Socioeconomic inequalities in cancer survival: A population-based study of adult patients diagnosed in Osaka, Japan, during the period 1993-2004	共著	2014年10月	Acta Oncol. (53巻10号)	Ito Y, Nakaya T, Nakayama T, Miyashiro I, Ioka A, Tsukuma H, Racht B.	1423-1433
Individualized and institutionalized residential place-based discrimination and self-rated health: a cross-sectional study of the working-age general population in Osaka city, Japan.	共著	2014年5月	BMC Public Health (14巻1号)	Tabuchi T, Nakaya T, Fukushima W, Matsunaga I, Ohfuji S, Kondo K, Inui M, Sayanagi Y, Hirota Y, Kawano E, Fukuhara H.	

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
Associations of All-Cause Mortality with Census-Based Neighbourhood Deprivation and Population Density in Japan: A Multilevel Survival Analysis.	共著	2014年6月	PLoS ONE (9巻6号)	Nakaya T, Honjo K, Hanibuchi T, Ikeda A, Iso H, et al.	e97802
京都府亀岡市篠町における2013年台風18号水害の地理的特徴	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	村中亮夫・谷端郷・中谷友樹	287-294
宮城県南三陸町の被災した文化遺産の現状と復興の課題	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	板谷直子(牛谷直子)・ロヒト・ジグヤス・中谷友樹	
社会格差を視る小地域のセンサス指標：地理的剥奪指標とジオデモグラフィクス	共著	2014年8月	地域開発 (599巻)	中谷友樹・矢野桂司	35-40
階層ベイズモデルを利用した小地域疾病地図－近隣地区を単位とする健康格差の視覚化－	共著	2014年8月	統計 (65巻8号)	中谷友樹	22-27
Neighborhood Deprivation and Risk of Cancer Incidence, Mortality and Survival: Results from a Population-Based Cohort Study in Japan	共著	2014年9月	PLoS ONE (9巻9号)	Miki Y, Inoue M, Ikeda A, Sawada N, Nakaya T, Shimazu T, Iwasaki M, Yamaji T, Sasazuki S, Shibuya K, Tsugane S, for the JPHC Study Group	e106729
Neighborhood contextual factors for smoking among middle-aged Japanese: A multilevel analysis	共著	2015年1月	Health & Place(31巻)	Hanibuchi T, Nakaya T, Honjo K, Ikeda A, Iso H, Inoue M, Sawada N, Tsugane S and JPHC Study Group	17-23
京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	共著	2014年11月	地理情報システム学会講演論文集 (23巻)	米島万有子・中谷友樹・川道美枝子・今村 聡・山本憲一	4p
高校地理での学習内容を活かした防災教育プログラムの開発と実践－身近な地域の水害リスクを事例として－	共著	2014年10月	地理科学 (69巻4号)	村中亮夫・谷端郷・飯塚広志・中谷友樹	195-213
Visualising Emerging Trends of Clusters in a Space-Time Region Using Spatio-Temporal Kernel Regression	共著	2014年9月	Proceedings of GIScience 2014	Nakaya T, Hawarth J, Cheng T	200-204
大阪府におけるがん患者の生存率の社会経済格差：1993-2004年診断患者による分析	共著	2014年12月	JACR Monograph, No. 20	伊藤ゆり・中谷友樹・宮代勲・井岡亜希子・中山富雄	69-78
土地被覆データにもとづく疾病媒介蚊の生息分布域の分析－琵琶湖東沿岸地域を対象に－	共著	2015年3月	地理学評論 88巻2号	米島万有子・中谷友樹・渡辺 護・二瓶直子・津田良夫・小林睦生	印刷中

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
地理疫学とビッグデータ解析：地理情報科学からみたその可能性と展望	単独	2014年1月	第24回日本疫学会学術総会シンポジウム「ビッグデータ解析に挑む」	中谷友樹
高校地理での学習内容を活かした防災教育プログラムの実践—身近な地域の水害リスクを事例として—	共同	2014年3月27-28日	2014年度日本地理学会春季学術大会	村中亮夫・谷端郷・飯塚広志・中谷友樹
宮城県南三陸町の被災した文化遺産の現状と復興の課題	共同	2014年7月5日	第8回歴史都市防災シンポジウム	板谷直子(牛谷直子)・ロヒト・ジグヤス・中谷友樹
京都府亀岡市篠町における2013年台風18号水害の地理的特徴	共同	2014年7月5日	第8回歴史都市防災シンポジウム	村中亮夫・谷端郷・中谷友樹
Visualising Emerging Trends of Clusters in a Space-Time Region Using Spatio-Temporal Kernel Regression	共同	2014年9月26日	GIScience 2014	Nakaya T, Hawarth J, Cheng T
全国レベルでみた近隣と健康(1)—ウォーカビリティと身体活動	共同	2014年11月6日	第73回日本公衆衛生学会総会	埴淵知哉・中谷友樹・米島万有子・本庄かおり
全国レベルでみた近隣と健康(2)—地理的剥奪と主観的健康感	共同	2014年11月6日	第73回日本公衆衛生学会総会	中谷友樹・埴淵知哉・米島万有子・本庄かおり
京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	共同	2014年11月8日	地理情報システム学会第23回研究発表大会	米島万有子・中谷友樹・川道美枝子・今村聡・山本憲一
Estimates of HIV-infected individuals in Japan	共同	2014年11月7日	第73回日本公衆衛生学会総会	Nishiura H, Nakaya T and Kakehashi M
山間地域における独居高齢者の食料品入手とフードセキュリティの関連要因	共同	2014年11月6日	第73回日本公衆衛生学会総会	福田吉治・林辰美・村山伸子・石川みどり・横山徹爾・草間かおる・中谷友樹・武見ゆかり
埼玉県2市町在住独居高齢者の食料品店への近接性との食生活状況との関連	共同	2014年11月6日	第73回日本公衆衛生学会総会	吉葉かおり・武見ゆかり・村山伸子・石川みどり・横山徹爾・中谷友樹
山間地域独居高齢者の食料品の買い物の困難さと満足度に関わる社会経済的要因	共同	2014年5月27日	第84回日本衛生学会学術総会	福田吉治・林辰美・村山伸子・石川みどり・横山徹爾・草間かおる・中谷友樹・武見ゆかり
Detection of Space-Time Crime Patterns for Predictive Policing	共同	2014年4月8日	Annual meeting of the Associations of American Geographers	Monsuru Adepeju, Tao Cheng, Tomoki Nakaya
健康の社会的決定因としての地理的環境	単独	2014年8月8日	公衆衛生セミナー：日本における健康の社会決定要因	中谷友樹
感染症の空間的伝播とそのモデル	単独	2014年8月10日	感染症数理モデルによる流行データ分析と問題解決	中谷友樹

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
ESRI ジャパン株式会社	「第10回GISコミュニティフォーラム」マップ・ギャラリーコンテスト1位	あなたの名前をみつけれられますか	2014年5月
地理情報システム学会	地理情報システム学会学術大会ポスターセッション賞	京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	2014年11月

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	平尾 和洋

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
名古屋市町並み保存地区における歴史的町並みの整備実態 - 四間道・中小田井地区を事例として -	共著	2014年2月	日本建築学会技術報告集第20巻第44号（第20巻第44号）	北山めぐみ, 山本直彦, 平尾和洋, 増井正哉	279-284
修理・修景型の自治体自主制度による修景実態に関する研究 - 名古屋市有松町並み保存地区における外観意匠の類型化と伝統的建造物との対応関係 -	共著	2014年12月	日本建築学会計画系論文集(第79巻第706号)	北山めぐみ, 山本直彦, 平尾和洋, 増井正哉	2689-2698

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
名古屋市有松町並み保存地区における修景実態に関する研究 - 外観意匠の類型化と伝統的建造物の意匠との対応関係 -	共著	2014年5月	日本建築学会四国支部研究報告集第14号	北山めぐみ, 山本直彦, 平尾和洋, 増井正哉
明日香村における民家の外観意匠類型 - 飛鳥大字と奥山大字を事例として -	共著	2014年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第54号・計画系	城戸杏里, 山本直彦, 平尾和洋, 上原いな
奈良県明日香村飛鳥・奥山大字における民家の外観意匠と防火意匠の現状調査	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演梗概集	高田駿平, 平尾和洋, 山本直彦
名古屋市有松地区における栗田家住宅の実測調査報告 - 伝統的居住文化の維持・保全と観光開発の共生に関する研究 その17-	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演梗概集	北山めぐみ, 藤木庸介, 平尾和洋, 向坊 恭介, 宗本 晋作, 山田悟史
名古屋市有松地区における竹田家住宅の実測調査報告 - 伝統的居住文化の維持・保全と観光開発の共生に関する研究 その16-	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演梗概集	藤木庸介, 北山めぐみ, 平尾和洋, 向坊 恭介, 宗本 晋作, 山田悟史
復元平面図を用いた余呉型民家の規模と開口部に関する分析	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演梗概集	山本裕之, 平尾和洋

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	深川 良一

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
新たな地盤変位計測に向けたネイリングセンサの設置効果の検証	共著	2014年3月	地盤工学ジャーナル	檀上徹、酒匂一成、岩佐直人、Nghiem Minh Quang、酒井直樹、深川良一	15-28
清水寺後背斜面における地中音測定を用いた地下水流動の把握	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	藤本将光、檀上徹、土山拓也、木村亘、深川良一	145-150
生石灰と初殻配合比と養生期間が改良土の力学特性に与える影響	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	大矢綾香、奥本龍馬、藤本将光、深川良一、李徳河	139-144
超音波による土中水分測定の新制度懸賞に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	平岡伸隆、中野峻也、田中克彦、藤本将光、深川良一、戸狩麻子、岩佐直人	131-138
2013年台風18号の豪雨に伴う清水寺境内の被害と地盤内水分変動に関する考察	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	檀上徹、藤本将光、木村亘、平岡伸隆、深川良一	115-122
清水寺における雨量指標を用いた斜面崩壊警戒基準に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集(8巻)	石田優子、藤本将光、平岡伸隆、大矢綾香、酒匂一成、深川良一	151-158
拡開型地中アンカーの開発に向けた室内モデル実験	共著	2014年9月	第7回土砂災害に関するシンポジウム論文集	檀上徹、寺本龍生、宮島佳之、福島信夫、藤本将光、深川良一	241-246
超音波による土中水分量計測の定量的評価に関する研究	共著	2014年11月	Kansai Geo-Symposium 2014 論文集	中野峻也、平岡伸隆、田中克彦、藤本将光、深川良一、戸狩麻子、岩佐直人	217-222
風化花崗岩山地における基岩地下水の流動層の把握手法の検討	共著	2014年11月	Kansai Geo-Symposium 2014 論文集	馬場直輝、藤本将光、小杉賢一郎、深川良一、谷誠	43-48
燃料電池を用いた長期安定的に電力供給可能な新規独立電源の開発と斜面崩壊研究における実証	共著	2014年11月	Kansai Geo-Symposium 2014 論文集	前田健作、山下全広、勝間祥行、北村幸太、藤本将光、深川良一	149-152
先行降雨を考慮した地震による斜面安定性に関する実験的考察	共著	2014年11月	Kansai Geo-Symposium 2014 論文集	田邊友章、平岡伸隆、角宏一、藤本将光、深川良一	223-226
Evaluation of bedrock groundwater movement in a weathered granite hillslope using tracer methods	共著	2014年	International Journal of Erosion Control Engineering	Masamitsu FUJIMOTO, Ken'ichirou KOSUGI, Makoto TANI, Naoki BANBA, and Ryoichi FUKAGAWA	32-40
Seismic assessment of Japanese traditional wooden structure by dynamic interaction numerical analysis of surrounding ground	共著	2014年	Journal of Natural Disaster Science (35巻1号)	HISAKAZU SAKAI, Kazuyuki IZUNO, Kazunari SAKO, Takahiro ENDO, Ryoichi FUKAGAWA and Kenzo TOKI	1-20

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	福水 洋平

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
対称関係に基づくアピアランスと相対位置の拘束条件を用いた Pictorial Structure モデルにおける姿勢推定の高精度化	共著	2015年1月	画像電子学会 (掲載決定)	東篤司, 福水洋平, 泉知論, 山内寛紀, 梅村充一, 萩内 康雄, 東久保政勝	



## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	助教	向坊 恭介

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
飛騨高山の伝統木造仕口の性能検証実験	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 8	棚橋秀光, 大岡優, 向坊恭介, 鈴木祥之	pp. 1-8
高山市伝統構法木造建築物の3次元立体モデルによる地震応答解析	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 8	清水一史, 村田晶, 吉富信太, 向坊恭介, 池本敏和	pp. 9-16
東本願寺御影堂門の立体解析モデルによる地震応答解析	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 8	吉富信太, 栗田駿平, 向坊恭介, 鈴木祥之	pp. 17-24

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Full-Scale Shaking Table Test of Traditional Timber Building with Gable Roof Placed Free on Foundation.	共著	2014年8月	World Conference on Timber Engineering (WCTE2014)	Kyosuke Mukaibo and Yoshiyuki Suzuki
名古屋市有松地区における竹田家住宅の実測調査報告 伝統的居住文化の維持・保全と観光開発の共生に関する研究 その16	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演会(近畿)	藤木庸介, 北山めぐみ, 平尾和洋, 向坊恭介, 宗本晋作, 山田悟史
名古屋市有松地区における栗田家住宅の実測調査報告 伝統的居住文化の維持・保全と観光開発の共生に関する研究 その17	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演会(近畿)	北山めぐみ, 藤木庸介, 平尾和洋, 向坊恭介, 宗本晋作, 山田悟史
木造寺院山門の階段を用いた制震補強実験	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演会(近畿)	向坊恭介, 田代靖彦, 鈴木祥之
飛騨高山の伝統構法木造建築物の耐震性能評価 その1 古材・新材の材料特性	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演会(近畿)	大岡優, 棚橋秀光, 向坊恭介, 鈴木祥之
飛騨高山の伝統構法木造建築物の耐震性能評価 その2 古材・新材仕口の復元力特性	共著	2014年9月	日本建築学会学術講演会(近畿)	棚橋秀光, 大岡優, 向坊恭介, 鈴木祥之

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	宗本 晋作

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
ベイジアンネットワークを用いた海の見え方に対する印象評価に基づく街路空間の確率モデルに関する研究 - 宮古市鉾ヶ崎地区を対象として -	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 VOL.8	酒谷駿一, 宗本晋作, 山田悟史	pp217-222
自己組織化マップによる空間要素の可視化分析を用いた京都市伝統的建造物保存地区の通りの分類法に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集 VOL.8	松井宏, 宗本晋作, 山田悟史	pp223-228
GISを用いた津波避難計画における避難時間の可視化と関連施設の配置計画に関する研究	共著	2014年12月	情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集 第37回	山田悟史, 吉川優矢, 大山智基, 宗本晋作	
ベイジアンネットワークを用いた緑視率を指標とした緑環境評価の確率モデルに関する研究 - 京都市の景観を対象として -	共著	2014年12月	情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集 第37回	宗本晋作, 山田悟史	
自己組織化マップによる空間要素の可視化分析を用いた通りの印象評価推定法に関する研究 - 京都市伝統的建造物保存地区を対象として -	共著	2015年2月	日本建築学会計画系論文集	宗本晋作, 山田悟史	80 (708)

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
名古屋市有松地区における竹田家住宅の実測調査報告 - 伝統的居住文化の維持・保全と観光開発の共生に関する研究 その16-	共同報告	2014年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集 2014	藤木庸介, 北山めぐみ, 平尾和洋, 向坊恭介, 宗本晋作, 山田悟史
名古屋市有松地区における栗田家住宅の実測調査報告 - 伝統的居住文化の維持・保全と観光開発の共生に関する研究 その17-	共同報告	2014年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集 2014	北山めぐみ, 藤木庸介, 平尾和洋, 向坊恭介, 宗本晋作, 山田悟史

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
建築作品「裏錦・空錦・小錦」	共同	SD REVIEW 2014 入選展 SD2014 鹿島出版会	2014.12

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	矢野 桂司

著 書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
ジオデザインのフレームワーク		2014年7月	古今書院	石川幹子	238
文化情報学ガイドブック	編著	2014年11月	勉誠出版	赤間亮・鈴木桂子・八村広 三郎・湯浅俊彦	219
立命館大学グローバル COE プログラム における歴史 GIS のコラボレーション	単著	2014年	『地理』古今書院		第59巻 第9号 pp.49-59
地理情報システム (GIS) と地理情報科学のさらなる展開に向けて	単著	2014年	『写真測量とリモートセンシング』日本写真測量学会		第53巻 第6号 pp.239
JMOOC の準備段階における課題と期待	単著	2014年	『大学時報』日本私立大学連盟		第63巻 第358号 pp.48-51

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
Virtual Yamahoko Parade Experience System with Vibration Simulation	共著	2014年5月	ITE Transactions on Media Technology and Applications(2巻3号)	Li L, Choi V, Hachimura K, Yano K, Nishiura T, Tanaka HT	248-255
東日本大震災の復興に向けてのジオデザインの適用—福島県相馬市を対象としたワークショップの事例—	単著	2014年7月	災害の地理学	矢野桂司	212-232
立命館大学グローバル COE プログラム における歴史と GIS のコラボレーション	単著	2014年9月	地理 (59巻9号)	矢野桂司	49-59
文化情報をコーディネートする	単著	2014年11月	文化情報学ガイドブック	矢野桂司	15-29
近藤豊写真資料のデジタルアーカイブ構築と過去の景観	共著	2014年11月	立命館地理学 (26巻)	村上晴澄・佐藤弘隆・矢野桂司・福島幸宏・土橋誠	35-46
大学キャンパスの移転に伴う学生の居住地および通学行動の変化	共著	2014年11月	地理情報システム学会講演論文集 (24巻)	桐村喬, 矢野桂司	4p. (CD-ROM)
固定資産税における路線価流れ図の作成	共著	2014年11月	地理情報システム学会講演論文集 (24巻)	青木和人, 武田幸司, 矢野桂司, 中谷友樹	4p. (CD-ROM)
『京都市明細図』と京都市の都市計画履歴	共著	2014年11月	地理情報システム学会講演論文集 (24巻)	赤石直美, 瀬戸寿一, 福島幸宏, 矢野桂司	4p. (CD-ROM)
立命館大学アート・リサーチセンターでの大学院展開	単著	2014年12月	第20回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」発表論文集	矢野桂司	53-54
Japanese Surname Regions	共著	2014年	Papers in Regional Science (93巻3号)	Cheshire JA, Longley PA, Yano K, Nakaya T	539-555
「京都市明細図」の記載内容に関する一考察	共著	2014年	立命館地理学 (26号)	赤石直美・瀬戸寿一・福島幸宏・矢野桂司	73-89
社会格差を視る小地域のセンサス指標：地理的剥奪指標とジオデモグラフィクス	共著	2014年	地域開発 (599号)	中谷友樹・矢野桂司	35-40

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
福島県相馬市の復興計画へのジオデザインのフレームワークの適用	単著	2014年2月	ハーバード大学カール・スタインッツ教授のジオデザイン・シンポジウム	矢野桂司
The Digital Museum of the Kyoto Gion Festival	単著	2014年3月	Museums in the Digital Age: Case Studies in the Digitisation of Japanese Cultural Artefacts.	Keiji Yano
Virtual Kyoto: Exploring the past, the present and the future of Kyoto	単著	2014年3月	The Japan Society for the Promotion of Science (JSPS), en collaboration avec La Maison Universitaire France-Japon, a le plaisir de vous convier à la conférence du	Keiji Yano
コンピュータグラフィックで蘇る大船鉾巡行風景	単著	2014年6月	大船鉾復興記念フォーラム	矢野桂司
ジオデモグラフィクスとは何か？	単著	2014年7月	空間解析・ジオデモグラフィックシンポジウム	矢野桂司
デジタル・ヒューマニティーズとバーチャル京都	単著	2014年7月	空間情報シンポジウム2014	矢野桂司
デジタル・ヒューマニティーズとバーチャル京都	単著	2014年7月	空間情報シンポジウム2014	矢野桂司
立命館大学文学研究科文化情報学専修のプロジェクト概要「デジタル技術が生み出す新たな文化効果」	単著	2014年7月	立命館大学文学研究科文化情報学専修2014年度連続講演会第2回	矢野桂司
大学教育におけるGIS教育の推進の必要性「学校教育にもとめられるオープンデータを活用できる人材育成－日本学術会議提言：地理教育におけるオープンデータの利活用と地図力/GIS技能の育成を踏まえて－	単著	2014年8月	日本学術会議 地域研究委員会・地球惑星委員会合同 地理教育分科会	矢野桂司
デジタル地図を読む	単著	2014年9月	立命館大学土曜講座（『地図を読む』）	矢野桂司
大学キャンパスの移転に伴う学生の居住地および通学行動の変化	共著	2014年11月	第23回学術研究発表大会	桐村喬，矢野桂司
固定資産税における路線価流れ図の作成	共著	2014年11月	第23回学術研究発表大会	青木和人，武田幸司，矢野桂司，中谷友樹
『京都市明細図』と京都市の都市計画履歴	共著	2014年11月	第23回学術研究発表大会	赤石直美，瀬戸寿一，福島幸宏，矢野桂司
東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう活かすか	単著	2014年11月	日本学術会議主催学術フォーラム	矢野桂司
文化・歴史・地理空間情報を活用した地域研究の展開	単著	2014年12月	立命館地理学会	矢野桂司
パネル・ディスカッション：「文化情報学とデータベース」	単著	2014年12月	第20回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」	矢野桂司

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
ESRI ジャパン株式会社	「第10回GISコミュニティフォーラム」マップ・ギャラリーコンテスト1位	中谷友樹、矢野桂司、James Cheshire、Paul Longley『あなたの名前みつかりますか？』	2014年5月

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	山内 寛紀

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
対称関係に基づくアピアランスと相対位置の拘束条件を用いた Pictorial Structure モデルにおける姿勢推定の高精度化	共著	2015年4月	画像電子学会論文誌 2015年4月号掲載確定	東篤、福水洋平、泉知論、 山内寛紀、梅村充一、萩内 康雄、東久保政勝	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
骨格画像に基づく適応的フィルタを組み込んだブラインドデコンポリューションによる量子化ノイズ低減手法	共著	2015年2月	電子情報通信学会 技術研究報告 2015年2月	三輪卓矢, 山内寛紀, 泉知論, 齊藤和則, 福水洋平

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	山崎 有恒

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
明治後期京都歴史災害データベース	単著	2014年3月	立命館大学文学部山崎研究室、京都歴史災害資料研究会編	山崎有恒	pp.1-223

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	吉越 昭久

著 書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所等の名称	編者・著者名	担当頁数
災害の地理学	編	2014年7月	文理閣	吉越昭久	

論 文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
「第7回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」事業報告	共著	2014年3月	京都歴史災害研究 15	赤石直美・吉越昭久	33-36

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
鴨川の「寛文新堤」の機能と効果	単独	2014年9月	一般社団法人京都市防災協会 災害に強いまちづくり講座Ⅱ 歴史災害から学ぶ 平成26年度講演	吉越昭久

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
鴨川の「寛文新堤」の機能と効果」災害に強いまちづくり講座Ⅱ 歴史災害から学ぶ 平成26年度講演録	単著	一般社団法人京都市防災協会	2014年
水の地理学的な研究からみえてきたものー47年の軌跡をたどるー	単著	立命館大学	2014年1月

## 研究業績書

対象期間	2014年1月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	吉富 信太

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	著者名	担当頁数
「東本願寺御影堂門の立体解析モデルによる地震応答解析」	共著	2014年7月	『歴史都市防災論文集 Vol.8』, 立命館大学歴史都市防災研究所	吉富信太, 栗田駿平, 向坊恭介, 鈴木祥之	pp.17-24

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「木造建築物に適用可能なシステム同定に関する基礎的研究」	共著	2014年	日本建築学会近畿支部研究発表会	田中陽之、吉富信太
「木造建築物に適用可能なシステム同定に関する基礎的研究」	共著	2014年	日本建築学会大会（近畿）	田中陽之、吉富信太



## 研究業績書

対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	石田 優子

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
清水寺における雨量指標を用いた斜面崩壊警戒基準に関する研究	共著	2014年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集(Vol.8)	石田優子, 藤本将光, 平岡伸隆, 大矢綾香, 酒匂一成, 深川良一	pp.151-158
Consideration of rainfall index for slope failure at the world heritage Kiyomizudera	共著	2014年9月	IACMAG, Proceedings of the 14th International conference of International association for computer methods and recent advances in geomechanics	Y. Ishida, M. Fujimoto, R. Fukagawa, K. Sako and T. Danjo	pp.1345-1351
Numerical simulation of a large landslide triggered by Typhoon Talas in central Japan	共著	2014年9月	IACMAG, Proceedings of the 14th International conference of International association for computer methods and recent advances in geomechanics	M. Fujimoto, K. Kosugi, Y. Ishida, R. Fukagawa and Y. Satofuka	pp.1797-1802
和歌山県伏菟野地区の地質構造と崩壊機構の検討事例	共著	2014年11月	公益社団法人地盤工学会関西支部、地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	野並賢, 鍋島康之, 後誠介, 谷垣勝久, 矢野晴彦, 石田優子	pp.189-194
平成23年台風12号による和歌山県東牟婁地域における土石流災害	共著	2014年11月	公益社団法人地盤工学会関西支部、地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	江種伸之, 辻野裕之, 谷垣勝久, 泉並良二, 矢野晴彦, 加藤智久, 岩瀬信行, 石田優子, 藤本将光, 岩佐直人, 後誠介	pp.179-184
マップコンテストを通じた子供の防災・防犯教育への取り組み-「第8回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告-	共著	2015年3月	京都歴史災害研究第16号	崔明姫・赤石直美・米島万有子・石田優子・金度源	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
那智川水系の小流域における変状地の地形地質的特徴	共著	2014年5月	平成26年度砂防学会研究発表会	石田優子, 藤本将光, 江種伸之, 深川良一
清水寺における雨量指標を用いた斜面崩壊警戒基準に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災シンポジウム	石田優子, 藤本将光, 平岡伸隆, 大矢綾香, 酒匂一成, 深川良一
熊野那智大社土石流の源頭崩壊地における地質構造と崩壊に関する考察	共著	2014年7月	第49回地盤工学会研究発表会	石田優子, 後誠介, 藤本将光, 江種伸之, 深川良一

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
平成23号台風12号による熊野那智大社裏山における大規模斜面崩壊の再現計算に関する研究	共著	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	藤本将光, 小杉賢一郎, 石田優子, 里深好文, 深川良一
和歌山県伏菟野地区における大規模崩壊地の地質と崩壊に関する考察	共著	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	鍋島康之, 野並賢, 後誠介, 谷垣勝久, 矢野晴彦, 石田優子
和歌山県伏菟野地区で発生した大規模崩壊箇所における透水、強度特性の検討事例	共著	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	野並賢, 鍋島康之, 後誠介, 谷垣勝久, 矢野晴彦, 石田優子
平成23年台風12号による新宮市南松杖と相賀における土石流災害	共著	2014年7月	第49回地盤工学研究発表会	加藤智久, 岩瀬信行, 矢野晴彦, 石田優子, 江種伸之
Consideration of rainfall index for slope failure at the world heritage Kiyomizudera	共著	2014年9月	International conference of International association for computer methods and recent advances in geomechanics	Yuko Ishida, Masamitsu Fujimoto, Ryoichi Fukagawa, Kazunari Sako and Toru Danjo
Numerical simulation of a large landslide triggered by Typhoon Talas in central Japan	共著	2014年9月	International conference of International association for computer methods and recent advances in geomechanics	Masamitsu Fujimoto, Kenichi Kosugi, Yuko Ishida, Ryoichi Fukagawa and Yoshifumi Satofuka
和歌山県伏菟野地区の地質構造と崩壊機構の検討事例	共著	2014年11月	地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム	野並賢, 鍋島康之, 後誠介, 谷垣勝久, 矢野晴彦, 石田優子
平成23年台風12号による和歌山県東牟婁地域における土石流災害	共著	2014年11月	地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム	江種伸之, 辻野裕之, 谷垣勝久, 泉並良二, 矢野晴彦, 加藤智久, 岩瀬信行, 石田優子, 藤本将光, 岩佐直人, 後誠介
Practical Using of Disaster Mitigation Assets in Historical City Kyoto, Japan: The Disaster Mitigating Plan by Utilization of The Honganji-Water Pipelines and The Abandoned Green Belt Zone.	共著	2015年1月	The Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience @Tokyo University	Dowon Kim, Yuko Ishida, Mingji Cui, and Mayuko Yonejima

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
防災講演会「地域を守り抜く力！」 講演タイトル：文化遺産防災 平成23年台風12号による世界遺産の土砂災害被害		新宮市職業訓練センター	2014年2月1日
第26回滋賀地域地盤講演会「豪雨に起因する土砂災害に備える」 講演タイトル：世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」における2011年台風12号災害		立命館大学びわこ草津キャンパス	2014年10月6日
公益社団法人地盤工学会関西支部 「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会			2012年4月 ～2015年3月

## 研究業績書

対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	金 度源

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
都市内の河川と河川空間の防災活用に関する基礎的研究-再整備された京都市・堀川における防災機能の調査-	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集、Vol.8	金度源・大窪健之	pp.303-310
高山市三町、下二之町大新町重要伝統的建造物群保存地区における防災対策の現状調査	共著	2014年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	金度源・大窪健之	pp.87-88
Conservation of the fire fighting water supply system "Honganji-Water Pipelines": Restoration for practical utilizing of the fire disaster mitigating cultural heritage	共著	2014年10月	Cultural HELP 2014	Dowon Kim, Takeyuki Okubo	pp.85-94
地区防災計画の実施状況評価と防災活動推進のためのワークショップ実施について～与謝野町加悦重伝建地区を対象に	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集、Vol.8	宮田雄大・大窪健之・金度源	pp.295-302
ハザードマップの記載内容に関する傾向分析～平成25年度における日本全国の市町村を対象として～	共著	2014年5月	地域安全学会梗概集、No. 34, 地域安全学会	稲村雄一郎・大窪健之・金度源	pp.129-132
津波避難ビルにおける避難生活支援の課題と改善策に関する一考察～宮城県沿岸自治体に属する津波避難ビルを対象として～	共著	2014年5月	地域安全学会梗概集、No. 34, 地域安全学会	国島岳大・大窪健之・金度源	pp.5-8
市民消火栓の日常利用促進のための操作性改善と利用方法の検討～京都市清水寺地域の住民による評価を通して～	共著	2014年5月	地域安全学会梗概集、No. 34, 地域安全学会	塩浜裕紀・大窪健之・金度源・中村圭佑	pp.73-76
南海トラフ地震時に一時避難場所となる社寺の実態と避難所転用の際の課題～高知県沿岸部の黒潮町を対象として～	共著	2014年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集、第54号・計画系	森尾潤・大窪健之・金度源・中村圭佑・林倫子	pp.385-388
マップコンテストを通じた子供の防災・防犯教育への取り組み -「第8回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告-	共著	2015年3月	京都歴史災害研究第16号	崔明姫・赤石直美・米島万有子・石田優子・金度源	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
都市内の河川と河川空間の防災活用に関する基礎的研究-再整備された京都市・堀川における防災機能の調査-	共著	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	金度源

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
高山市三町、下二之町大新町重要伝統的建造物群保存地区における防災対策の現状調査	共著	2014年9月	日本建築学会大会@神戸大学	金度源
Conservation of the fire fighting water supply system "Honganji-Water Pipelines": Restoration for practical utilizing of the fire disaster mitigating cultural heritage	共著	2014年10月	Cultural HELP 2014 @Porto Portugal	Dowon Kim
地区防災計画の実施状況評価と防災活動推進のためのワークショップ実施について～与謝野町加悦重伝建地区を対象に	共著	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	宮田雄大
ハザードマップの記載内容に関する傾向分析～平成25年度における日本全国の市町村を対象として～	共著	2014年5月	第34回地域安全学会研究発表会（春季）@人と防災未来センター	稲村雄一郎
津波避難ビルにおける避難生活支援の課題と改善策に関する一考察～宮城県沿岸自治体に属する津波避難ビルを対象として～	共著	2014年5月	第34回地域安全学会研究発表会（春季）@人と防災未来センター	国島岳大
市民消火栓の日常利用促進のための操作性改善と利用方法の検討～京都市清水寺地域の住民による評価を通して～	共著	2014年5月	第34回地域安全学会研究発表会（春季）@人と防災未来センター	塩浜裕紀
南海トラフ地震時に一時避難場所となる社寺の実態と避難所転用の際の課題～高知県沿岸部の黒潮町を対象として～	共著	2014年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会@大阪工業技術専門学校	大窪健之
Practical Using of Disaster Mitigation Assets in Historical City Kyoto, Japan: The Disaster Mitigating Plan by Utilization of The Honganji-Water Pipelines and The Abandoned Green Belt Zone.	共著	2015年1月	The Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience @Tokyo University	Dowon Kim, Yuko Ishida, Mingji Cui, and Mayuko Yonejima

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）	
NPO 災害から文化財を守る会・技術部会幹事				平成20年～
歴史都市防災システム・機器開発研究会幹事				平成23年～
手づくりピコ発電水車プロジェクト	堀川手づくり水車の会 京都市立芸術大学高井研 京都市環境政策局地球温暖化対策室	堀川 京の七夕事業@堀川 京北第2小学校		平成20年～
東本願寺と環境を考える市民プロジェクト 防災部門委員		東本願寺		平成20年～
先斗町まちづくり協議会運営協力				平成26年～
第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム 防災・復興に関する展示	共同（石田優子、 崔明姫、米島万有子）	せんだいメディアテーク		平成27年3月14日～18日

## 研究業績書

対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	崔 明姫

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
若狭地区の文化財の保存・継承の実態調査に関する研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集、Vol. 8	崔明姫、金玖淑、谷口仁士、冷泉為人、大前知也、鐘ヶ江秀彦	p75-82
重要伝統的建造物群保存地区における防災意識の地域特性に関する比較研究	共著	2014年7月	歴史都市防災論文集、Vol. 8	崔青林、豊田祐輔、崔明姫、谷口仁士、金玖淑、朴ジョンヨン、鈴木祥之	pp229-236
Influence of Preparedness Measures on Re-Opening Time for Households' Businesses after 2011 Thai Flood: A Case of Sai Mai District in Bangkok Metropolitan Administration	共著	2014年7月	Journal of Disaster Mitigation for Historical Cities. Vol. 8	Siriluk Mongkonkerd, Sachi Perera, Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae	pp107-114

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
2011年タイ洪水による世界遺産アユタヤの経済的被害に関する調査研究	共著	2014年5月	第34回(2014年度)地域安全学会研究発表会(春季)	崔明姫、豊田祐輔、酒井宏平、谷口仁士、鐘ヶ江秀彦
Metrical Analyses on Population and Economic Growth and Urban 'Quality Of Life' of Metropolitan Cities in China during the 00s	共著	2014年5月	REAL CORP 2014: 19th International Conference on Urban Planning and Regional Development in the Information Society	Toshiyuki Kaneda, Meiyong Tian, Yang Wang, Mingji Cui, Renbao Jin
雅安地震における伝統的集落の被害調査：雅安望魚古鎮を事例として	共著	2014年7月	第8回歴史都市防災シンポジウム	劉鴻涛、谷口仁士、崔明姫
A Study on Economic Damage for Tourism in Kyoto City by Earthquake Disaster	共著	2014年9月	International Academic Conference on Tourism and Disaster (2014)	Mingji Cui, Qinglin Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
A Study on Evacuation Simulation for Guiding Tourists in Himeji Castle Based on a Survey of Tourists' Intention in Evacuation after Earthquake	共著	2014年9月	International Academic Conference on Tourism and Disaster (2014)	Kohei Sakai, Ayaka Honda, Siriluk Mongkonkerd, Sachi Perera, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hitoshi Taniguchi and Hidehiko Kanegae
少子高齢化社会を見据えた地震防災問題	共著	2014年9月	第33回自然災害学会学術講演会	崔明姫、谷口仁士、豊田祐輔
将来人口予測に基づいた沿岸部都市における地震・津波災害リスクの経済的評価	共著	2014年10月	日本地域学会第51回年次大会	崔明姫、谷口仁士

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Practical Using of Disaster Mitigation Assets in Historical City Kyoto, Japan: The Disaster Mitigating Plan by Utilization of The Honganji-Water Pipelines and The Abandoned Green Belt Zone.	共著	2015年1月	The Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience	Dowon Kim, Yuko Ishida, Mingji Cui, and Mayuko Yonejima
マップコンテストを通じた子供の防災・防犯教育への取り組み－「第8回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告－	共著	2015年3月	京都歴史災害研究第16号	崔明姫、赤石直美、米島万有子、石田優子、金度源

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
みどりが丘小学校、地域の安全安心マップ作成講習会の実施	共同	「第8回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の講習会、千葉県八千代市みどりが丘小学校	2014年8月3日
Lecture: "Economic Damage of Tourism Sector in Historic Cities"	単独	"12th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Aras in Kyoto" the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture and Urban Planning of Thammasat University.	2014年12月16日

## 研究業績書

対象期間	2014年4月1日～2015年3月31日	
所属	職名	氏名
立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	米島 万有子

論文					
論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	著者名	担当頁数
Retrospective search for dengue vector mosquito Aedes albopictus in areas visited by a German traveler who contracted dengue in Japan	共著	2014年7月	International Society for Infectious Diseases, International Journal of Infectious Diseases 26	Mutsuo Kobayashi, Osamu Komagata, Mayuko Yonejima, Yoshihide Maekawa, Kimio Hirabayashi, Toshihiko Hayashi, Naoko Nihei, Masahiro Yoshida, Yoshio Tsuda and Kyoko Sawabe	pp.135-137
京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	共著	2014年11月	地理情報システム学会、地理情報システム学会講演論文集 23	米島万有子・中谷友樹・川道美枝子・今村 聡・山本憲一	CD-ROM (4頁)
土地被覆データにもとづく疾病媒介蚊の生息分布域の分析—琵琶湖東沿岸地域を対象に—	共著	2015年3月(予定)	日本地理学会、地理学評論 88-2 (掲載予定)	米島万有子・中谷友樹・渡辺 護・二瓶直子・津田良夫・小林睦生	
マップコンテストを通じた子供の防災・防犯教育への取り組み—「第8回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2015年3月(予定)	立命館大学歴史都市防災研究所、京都歴史災害研究 16	崔 明姫・赤石直美・米島万有子・石田優子・金 度源	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
二条城堀の蚊の発生問題にみる歴史的景観「堀」に対する住民意識	単著	2014年9月	2014年日本地理学会秋季学会	米島万有子
全国レベルでみた近隣と健康(1)—ウォークアビリティと身体活動	共著	2014年11月	第73回日本公衆衛生学会総会	埴淵知哉・中谷友樹・米島万有子・本庄かおり
全国レベルでみた近隣と健康(2)—地理的剥奪と主観的健康感	共著	2014年11月	第73回日本公衆衛生学会総会	中谷友樹・埴淵知哉・米島万有子・本庄かおり
京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	共著	2014年11月	地理情報システム学会第23回研究発表大会	米島万有子・中谷友樹・川道美枝子・今村 聡・山本憲一
Practical using of disaster mitigation assets in historical city Kyoto, Japan: The disaster mitigating plan by utilization of the Honganji-water pipelines and the abandoned green belt zone	共著	2015年1月	The Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience	Kim Dowon., Ishida Yuko., Cui Mingji. and Yonejima Mayuko

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Practical using of disaster mitigation assets in historical city Kyoto, Japan: The disaster mitigating plan by utilization of the Honganji-water pipelines and the abandoned green belt zone	共著	2015年3月	the Third UN World Conference on Disaster Risk Reduction	Kim Down., Ishida Yuko., Cui Mingji. and Yonejima Mayuko
京都府内の社寺におけるアライグマ侵入被害の空間分析	共著	2015年3月	アライグマセミナー1	米島万有子・中谷友樹・川道美枝子・今村 聡・山本憲一

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
地理情報システム学会	2014年度第23回地理情報システム学会学術研究発表大会 ポスターセッション賞	京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析	2014年11月